

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
例		障害福祉課	障害を理由とする差別の解消に向けたシンポジウム	意識啓発・理解促進	令和5年2月1日(水)に開催した。岡山理科大学の川島聡教授による講演及び広島大学名誉教授の横藤田氏によるパネルディスカッションを行った。会場とwebのハイブリットで開催し、障害者及びその家族、事業者などさまざまな立場の方が参加され、総勢130名(会場参加45名、web参加85名)が参加した。	事業者に対する合理的配慮の義務化を主とした障害者差別解消法改正法が令和6年4月1日に施行されることが決まり、事業者を中心としたより多くの市民をどのように集客するかが課題である。	障害者差別解消法改正法を踏まえた基調講演を行うとともに、行政・民間事業者の取組の紹介や障害者関係団体を交えたパネルディスカッションを行うことにより、広く市民に障害や障害者に対する理解と意識啓発を促進することを目的に、シンポジウムを開催する。	年1回	1,748	715	全障害対象
1	危機管理室	災害予防課	防災思想の普及啓発	情報保障	計13,000部を印刷し、講演会等で配布した。	—	防災普及啓発冊子「たちまち防災」に音声コードを付して発行し、講演会、研修会、訓練等の参加者に配布する。	通年	1,416	1,818	視覚障害者
2	危機管理室	災害予防課	防災まちづくり事業	情報保障	令和3・4年度に実施した防災講演会に手話通訳者及び要約筆記者を派遣した。	—	市民の防災意識の高揚、地域における防災活動を促進するために実施する防災講演会に、手話通訳者・要約筆記者を派遣する。	通年	316	427	視覚障害者
3	危機管理室	災害予防課	自主防災組織の育成支援	情報保障	地域が避難所運営訓練を行う際に、手話通訳者・要約筆記者を派遣するもので、令和元年度は10回、令和4年度は計2回の訓練に派遣した。	—	大規模災害時に地域住民や自主防災組織などが協力して避難所運営を円滑に行うための訓練を行う際に、手話通訳者・要約筆記者を派遣する。	通年	38	148	視覚障害者
4	危機管理室	災害対策課	防災情報伝達体制の強化 (防災情報電話通知サービス)	情報保障	令和4年度末時点の登録実績 2,165件	—	(早めの避難が必要となる要介護者や障害者など、災害時に自ら避難することが困難な避難行動要支援者のうち、土砂災害や洪水などの危険区域に居住する世帯を対象に電話機の自動音声により迅速かつ的確に避難情報を伝達することを目的としたサービス) 平成28年度から防災行政無線屋内受信機を整備してきたが、情報通信技術の進展等を踏まえ、令和2年度から本サービスを導入する。 引き続き、事業を継続し年に1回、新たに対象となった方に希望調査を行う。	通年	4,865	5,018	避難行動要支援者の要件に該当する方で土砂災害警戒区域等に居住する世帯又は浸水想定区域(洪水、高潮、津波)の1~2階に居住する世帯
5	企画総務局	広報課	記者会見ライブ中継の実施	情報保障	市長記者会見ライブ中継において、手話通訳を実施し、記者会見後に配信する動画へ字幕を挿入した。	—	市長記者会見ライブ中継において、手話通訳を実施し、記者会見後に配信する動画へ字幕を挿入する。	通年	3,620	2,315	聴覚障害対象
6	企画総務局	広報課	テレビ広報番組放送	情報保障	テレビ広報番組(カープ家のひろしま生活+プラス、元就。二百万一心!)において、聴覚障害者向けに手話通訳・字幕(クローズドキャプション及び要約字幕)を導入した。	—	テレビ広報番組(鈴木福のミミヨリ!ひろしま、元就。二百万一心!)において、聴覚障害者向けに手話通訳・字幕(クローズドキャプション及び要約字幕)を導入する。	通年	6,325	6,600	聴覚障害対象
7	企画総務局	広報課	視覚障害者用声の広報	情報保障	広報紙「ひろしま市民と市政」の発行に伴い、点字を読むことができない視覚障害者向けに「声の広報」(カセット、デジター(CD))を作成・配布した。	声の広報、点字広報は委託で製作配布しているが、1日号のうち2面は各区版となっており、その部分については各区のボランティア団体が声の広報、点字広報を別途作成し、希望者に配布している。新型コロナウイルス感染症の影響等でボランティア団体が活動を自粛した場合、全市版を追加発注する等の代替措置を講じる必要がある。	広報紙「ひろしま市民と市政」の発行に伴い、点字を読むことができない視覚障害者向けに「声の広報」(カセット、デジター(CD))を作成・配布する。	通年	5,040	5,573	視覚障害対象
8	企画総務局	広報課	点字広報紙発行	情報保障	広報紙「ひろしま市民と市政」の発行に伴い、視覚障害者向けに「点字広報紙」を作成・配布した。	—	広報紙「ひろしま市民と市政」の発行に伴い、視覚障害者向けに「点字広報紙」を作成・配布する。	通年	6,227	6,665	視覚障害対象
9	企画総務局	広報課	ホームページ管理運営	環境の整備	ホームページにおいてPDFファイルによる提供に留まっているコンテンツについては、音声読み上げソフトや自動翻訳ソフトに対応しないため、これらコンテンツのPDFファイルをHTML化した。	予算内での対応となるため、対象となるPDFファイルを選定しないといけないが、どのような資料が実際に視覚障害の方にとって重要な情報かの選別が難しい。	ホームページにおいてPDFファイルによる提供に留まっているコンテンツについては、音声読み上げソフトや自動翻訳ソフトに対応しないため、これらコンテンツのPDFファイルをHTML化する。	通年	825	1,375	視覚障害対象

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
10	企画総務局	コミュニティ再生課	企業等による地域貢献活動実績発表会の開催	情報保障	多様な主体の連携による持続可能な地域コミュニティの実現に向けて、現役世代が職務内外で地域貢献活動に参画しやすい環境づくりを推進することを目的として開催した「企業等の地域貢献活動に関するシンポジウム」において、手話通訳を配置した。	—	多様な主体の連携による持続可能な地域コミュニティの実現に向けて、現役世代が職務内外で地域貢献活動に参画しやすい環境づくりを推進することを目的として開催する「企業等による地域貢献活動実績発表会」において、手話通訳を配置する。	令和6年2月	開催に係る委託業務に溶け込んでいるため算出不可	開催に係る委託業務に溶け込んでいるため算出不可	聴覚障害
11	企画総務局	研修センター	職員研修 (障害を有する研修生等に対する合理的配慮)	情報保障	対象者がいた場合は、手話通訳者・要約筆記者を派遣した。	研修講師においても適切な配慮が行われるよう、関係者間で、綿密に意思疎通を図るなどして、より一層適切な研修の実施を目指していく。	対象者がいる場合は、手話通訳者・要約筆記者を派遣する。	4月～12月	43	450	聴覚障害対象
12	企画総務局	研修センター	職員研修 (障害を有する研修生等に対する合理的配慮)	その他	研修案内等に配慮の必要性等の事前連絡に係る案内を行い、当該連絡があったものについて、対応した。	研修講師においても適切な配慮が行われるよう、関係者間で、綿密に意思疎通を図るなどして、より一層適切な研修の実施を目指していく。	研修案内等に配慮の必要性等の事前連絡に係る案内を行い、当該連絡があったものについて、適切に対応する。	随時	0	0	全障害対象
13	企画総務局	研修センター	職員研修 (障害者差別解消に関する研修の実施)	環境の整備	障害者への合理的な配慮の事例や対応方法等について研修を実施した。	特になし。	障害者への合理的な配慮の事例や対応方法等について研修を実施する。	4月～9月	0	0	全障害対応
14	企画総務局	研修センター		環境の整備	新規採用職員研修(後期)において、市職員として必要な福祉に関する基本的な知識や技能などを会得するため、要約筆記や車椅子体験などを行った。	特になし。	新規採用職員研修(後期)において、市職員として必要な福祉に関する基本的な知識や技能などを会得するため、要約筆記や車椅子体験などを行う。	8月～9月	310	291	全障害対応
15	企画総務局	研修センター		環境の整備	職場研修等での利用のため、貸出し用の教材として、手話の技法を学ぶための本やDVDを購入した。	特になし。	職場研修等で利用できるよう周知を図る。	随時	5	0	聴覚障害対応
16	企画総務局	研修センター	研修センターの福祉環境整備事業	環境の整備	予算の枠内で可能な限り、広島市公共福祉環境整備要綱を基にバリアフリー化に努めた。	構造上の問題で整備が不可能な項目や既存予算の枠内では実施できない項目がある。	広島市公共福祉環境整備要綱を基に、車椅子利用者等対応トイレを新設する。その他、優先順位を考慮しながら計画的にバリアフリー化に努める。	通年	1,411	3,100	全障害対象
17	市民局	市民活動推進課	平和記念式典	環境の整備	平和記念式典参列者席に車椅子席を設けた。	—	平和記念式典参列者席に車椅子席を設ける。	令和5年8月6日	椅子席設営業務に溶け込んでいるため算出不可	椅子席設営業務に溶け込んでいるため算出不可	身体障害
18	市民局	市民活動推進課	平和記念式典	情報保障	平和記念式典障害者席に手話通訳者を配置し、同時通訳を行った。また、文字情報が必要な方に対して、あいさつ文を文字起こした用紙を配布した。	—	平和記念式典障害者席に手話通訳者を配置し、同時通訳を行う。また、文字情報が必要な方に対して、要約筆記を行う。	令和5年8月6日	26	134	聴覚障害
19	市民局	市民活動推進課	町内会の振興	意識啓発・理解促進	町内会・自治会加入促進チラシを50,000部増刷し、市民課等で配付した。	—	町内会・自治会加入促進チラシに音声コードを貼付し、転入者及び転居者に配付する。	通年	107	107	視覚障害者

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
20	市民局	市民活動推進課	町内会の振興	意識啓発・理解促進	子育て世代向けチラシを新しく作成し、4か月児健康診査受診時や、生協ひろしまとの包括的連携協定を活用して配付した。	—	子育て世代向けチラシに音声コードを貼付し、未就学児の親世代に配付する。	通年	183	83	視覚障害者
21	市民局	市民活動推進課	集会所福祉環境整備	環境の整備	障害者差別解消法の施行に伴い、平成28年度から令和7年度までの10年間を市公共建築物のバリアフリー化の集中実施期間とし、集会所については、これまで腰掛式便器や便所手すりの設置を主に整備してきたことから、他に整備すべき項目を整理し、それを踏まえた計画を策定し、バリアフリー化を行った。	—	市が設置した集会所について、便所改修等のバリアフリー化を実施する。	令和4年度	6,205	4,000	身体障害
22	市民局	生涯学習課	公民館の福祉環境整備	環境の整備	障害者差別解消法の施行に伴い、平成28年度から令和7年度の10年間を市公共建築物のバリアフリー化の集中実施期間とし、公民館については毎年2館ずつエレベーター設置工事を実施している（令和4年度の工事予定箇所については、一部入札不調により令和4～5年度にかけて実施中）。	エレベーター設置工事が完了する令和4年度以降、広島市公共施設福祉環境整備要綱に適合していない項目について、計画的に対応する必要がある。	エレベーター未設置の公民館について、計画的に整備を行う。 令和5年度 エレベーター設置工事1館（東野） ※令和4年度からの繰越	通年	55,050	48,140	肢体不自由 視覚障害
23	市民局	生涯学習課	公民館の施設整備	環境の整備	—	—	二葉公民館（東区地域福祉センターと合築）における、駐車場カーポート整備工事を行う。 令和5年度 工事	通年	326	2,200	肢体不自由
24	市民局	(公財) 広島市文化財団 青崎公民館	広報紙「青崎公民館だより」の音訳及び貸出業務	情報保障	令和4年度の「青崎公民館だより」の全7回分を音訳し、ホームページに公開するとともに、録音したCDの貸出しをしている。 この音訳活動は、障害者への公民館活動の情報発信と地域のまちづくり活動への寄与を目的として、朗読ボランティアグループ活動支援事業（公民館主催事業）として行った。	—	朗読ボランティアグループの活動を支援し、視覚障害者向けに、広報紙「青崎公民館だより」を音声で聞けるよう、声の広報（web、CD版）を制作し、希望者へCDの貸出しを行う。	年7回	0	0	視覚障害
25	市民局	(公財) 広島市文化財団 真亀公民館	まがめ人権ひろば「点字体験」	意識啓発・理解促進	毎年開催する真亀公民館まつり「けやきふれあいまつり」で実施している。（令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み中止）。視覚障害者と支援者で組織された市民活動団体と共催し、まつり来場者に対し、点字体験と視覚障害（者）への理解を深める展示を行ってきた。平成31年（令和元年度）は70名近くの方が体験に参加し、市民活動団体と地域住民の交流の輪が広がった。	これまでは、真亀児童館遊戯室を会場に開催してきたが、位置的に人の流れを呼び込むための苦労があった。令和5年度は会場を真亀公民館2階ロビーに移し、より多くの人に気軽に参加・体験してもらえるよう工夫する。	令和5年4月22日（土）開催の「第36回けやきふれあいまつり」で開催。視覚障害者と支援者で組織された市民活動団体と共催し、まつり来場者に対し、点字体験と視覚障害（者）への理解を深める展示を行う。	4月	0	0	視覚障害者
26	市民局	生涯学習課	広島市立図書館・閲覧室の管理運営	情報保障	広島市立図書館全館・室に助聴器、拡大読書器、リーディングトラッカー（読書補助器）、コミュニケーションボードを配備した。	—	今後も必要な福祉用具を検討する。	随時	年度を超えて配備したため、算出不可	0	全障害対象
27	市民局	生涯学習課	広島市立図書館・閲覧室の管理運営	情報保障	行事における手話通訳・要約筆記を必要に応じて配備した。令和4年度は「大人のための朗読読書会」のみ実施した。その他事業では、必要な方がいなかったため、実績なし。	—	行事における手話通訳・要約筆記を必要に応じて配備する。	通年	0	384	全障害対象
28	市民局	生涯学習課	「対面朗読ボランティア研修会」（中央図書館）	意識啓発・理解促進	令和5年1月24日（火）に広島市立中央図書館で開催。 広島市立図書館の対面朗読ボランティア等を対象に募集し、15名が参加した。 視覚障害者への理解を深めるため、災害時にどのような支援が必要なのかを学ぶとともに、図書館からの避難誘導を体験した。	—	広島市立図書館の対面朗読ボランティア等を対象に、対面朗読のスキル向上又は視覚障害者への理解を深める内容により研修会を開催する。	年1回	13	17	視覚障害者

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
29	市民局	生涯学習課	「大人のための朗読読書会」(中央図書館)	情報保障	令和5年2月23日(木・祝)に心身障害者福祉センターで開催した。教科書に載った文学作品を朗読し解説することにより、名作の魅力を紹介した。障害の有無を問わず募集し、26名が参加した。開催にあたって、事前希望の有無にかかわらず、手話通訳及び要約筆記を実施した。	—	活字の読書が難しい視覚障害者等と一緒に楽しめる事業として、朗読読書会を開催する。障害の有無を問わず募集し、事前希望の有無にかかわらず、手話通訳及び要約筆記を実施する。会場は広島市中心障害者福祉センターを予定する。	年1回	34	35	全障害対応
30	市民局	生涯学習課	対面朗読(広島市立図書館)	情報保障	令和4年度実績：延べ84件	—	視覚に障害がある方等で対面朗読を希望する方に、図書館の本や新聞・雑誌などを朗読する。 1回2時間以内	通年	0	0	視覚障害者
31	市民局	生涯学習課	図書郵送貸出(広島市立図書館)	情報保障	令和4年度実績 貸出冊数：3,997冊 貸出件数：1,931件 登録者数：238人	—	広島市内に居住又は通勤・通学し、身体障害者手帳1級から4級までの人、又は療育手帳の等級(A)若しくはAの人、又は精神障害者保健福祉手帳1級から2級までの人に対し、希望する図書を1人10冊までを4週間貸出する。	通年	他事業で購入した切手と合わせて管理するため、実際に使用した額を算出することは困難である	468	身体障害者 知的障害者 精神障害者
32	市民局	生涯学習課	録音図書の貸出(広島市立図書館)	情報保障	令和4年度実績 貸出本(点)数：922本(点) 貸出件数：694件 登録者数：110人	—	広島市内に居住又は通勤・通学し、身体障害者手帳(視覚障害)を持っている人、又は図書館長が視覚の表現による認識に障害があると認めた人に対し、カセットブック2タイトルまで、デジター図書・マルチメディアデジター図書4点まで、CDブック10点までを4週間貸出する。	通年	0	0	視覚障害者
33	市民局	生涯学習課	デジター図書再生機の貸出(広島市立図書館)	情報保障	令和4年度実績：7件	—	広島市内に居住又は通勤・通学し、身体障害者手帳(視覚障害)を持っている人、又は図書館長が視覚の表現による認識に障害があると認めた人に対し、デジター図書再生機を3か月間貸出。	通年	0	0	視覚障害者
34	市民局	生涯学習課	安佐南区図書館の管理運営	環境の整備	スロープのついていない箇所にある既存のブックポストが車イス等では使えないため、代替措置として、段の下に箱型ブックポストを設置した。	箱型ブックポストでは、容量に限りがあるため、本来であれば、既存のブックポストを利用できるよう、スロープを設置する必要がある。	—	—	箱型ブックポストは、令和3年度予算で購入したものを使用。(253千円)	0	肢体不自由
35	市民局	生涯学習課	映像文化ライブラリー管理(指定管理)	情報保障	12月の障害者週間にあわせて、日本語吹替・日本語字幕付き、あるいは日本語字幕と音声ガイドが付いたバリアフリー映画の上映会を実施した。 令和4年度は、12/1(木)～12/4(日)、12/7(水)～12/11(日)の9日間で9作品を上映した。	音声ガイドや字幕・吹替などが全て揃う作品に限られている。	視覚や聴覚に障害がある方も映画を楽しめるように、令和5年度以降も12月に継続して実施する。	年1回	1,313	1,611	視覚障害者 聴覚障害者
36	市民局	生涯学習課	映像文化ライブラリー管理(指定管理)	情報保障	映画監督等の講演会において、手話通訳及び要約筆記を行った。 (令和4年度は、10/22(土)に、映画プロデューサー新藤次郎氏の講演会で実施した)	—	聴覚に障害がある方も講演会を楽しめるように、令和5年度以降も継続して実施する。	年1回	147	339	聴覚障害者
37	市民局	市民安全推進課	「減らそう犯罪」区民大会の開催	情報保障	市民の防犯意識の高揚を図るため「減らそう犯罪」区民大会を開催し、手話通訳者・要約筆記者を配置している。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、同大会を中止した区もあった。	—	市民の防犯意識の高揚を図るため「減らそう犯罪」区民大会を開催し、手話通訳者・要約筆記者を配置する。	各区年1回	159	272	聴覚障害

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
38	市民局	文化振興課	現代美術館施設整備	環境の整備	改修工事において、以下を整備した。 ・多目的トイレの増設 ・エレベーターの増設	—	—	—	1,737,965	0	肢体不自由
39	市民局	文化振興課	広島城トークイベント	意識啓発・理解促進	令和4年12月11日(日)に開催した。 広島城の価値や魅力についてのメイントークやトークセッションを行い、要約筆記及び手話通訳を配置した。 参加者 325人	—	—	—	1,401	0	聴覚障害
40	市民局	平和推進課	被爆体験伝承者の養成	情報保障	受講生に手話通訳の必要な方がいなかったため、実施せず。	—	被爆者の被爆体験や平和への思いを受け継ぎ、それを伝える被爆体験伝承者を平成24年度から養成している。 聴覚に障害がある応募者から、被爆体験伝承者養成研修の際の要約筆記者または手話通訳者の配置希望があったので、手話通訳者を配置する。	通年	0	187 (手話通訳・要約 筆記にかかる 予算額)	聴覚障害
41	市民局	平和推進課	平和宣言の発信	情報保障	平和宣言の内容を発信するため、平和宣言の点字版を作成し、点字図書館等へ配付した。	—	平和宣言の内容を発信するため、平和宣言の点字版を作成し、点字図書館等へ配付する。	令和5年8月	29	37	視覚障害
42	市民局	(公財)広島平和文化センター平和市民連帯課	国際平和シンポジウムの開催	情報保障	市民の平和意識の高揚と国内外への平和メッセージの発信を目的として開催した「国際平和シンポジウム2021」において、手話通訳を配置した。同シンポジウムは広島市と長崎市で交互に開催しているが、令和4年度は長崎市で開催されたため、取組なし。	—	市民の平和意識の高揚と国内外への平和メッセージの発信を目的とした「国際平和シンポジウム」を広島市と長崎市で交互に開催しているが、令和5年度は広島市で開催される。その際、手話通訳を配置する。	令和5年7月	0	26	聴覚障害
43	市民局	(公財)広島平和文化センター平和市民連帯課	平和文化の振興	情報保障	「平和文化」の振興を図ることを目的として毎年11月に開催する「平和文化月間」の平和文化講演会において、手話通訳を配置した。	—	「平和文化」の振興を図ることを目的として毎年11月に開催する「平和文化月間」の平和文化講演会において、手話通訳を配置する。	令和5年10月	13	規定予算内で対応	聴覚障害
44	市民局	(公財)広島平和文化センター平和市民連帯課	ひろしま子ども平和の集い	情報保障	平和記念式典参列等のために広島を訪れる子どもたちと広島在住の子どもたちが平和のメッセージを発信する「ひろしま子ども平和の集い」において、手話通訳・要約筆記者を配置する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、取組なし。	—	平和記念式典参列等のために広島を訪れる子どもたちと広島在住の子どもたちが平和のメッセージを発信する「ひろしま子ども平和の集い」において、手話通訳・要約筆記者を配置する。	令和5年8月	25	65	聴覚障害
45	市民局	(公財)広島平和文化センター平和首長会議運営課	平和首長会議の活動展開 (「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動の展開)	情報保障	視覚障害者向けに点字の署名用紙を作成し、市役所や各区役所等の署名コーナーに配布した。	—	平成22年から核兵器禁止条約の実現を目指した署名活動を高校生等の協力も得て行っており、視覚障害者向けに、点字の署名用紙を作成している。	通年	0 (令和2年度作成したものを使用)	0 (令和2年度作成したものを使用)	視覚障害
46	市民局	(公財)広島平和文化センター平和首長会議運営課	第10回平和首長会議総会の開催	情報保障	令和4年10月19日(水)～20日(木)に広島市で開催した平和首長会議総会において、手配通訳者を配置した。	—	—	令和4年10月	48	—	聴覚障害

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
47	市民局	(公財) 広島平和文化センター平和記念資料館啓発課	被爆体験講話の臨時開催	情報保障	8月6日前後の夏休み期間に実施した。手話通訳、要約筆記の体制は必要に応じて配備。 ※2年度は新型コロナウイルスの影響により、臨時開催の実施を見送った。3年度はオンラインで開催し、4年度は12回開催した。	—	来館者が多く見込まれる8月6日前後の夏休み期間に、個人、団体問わず講話を実施する。予約不要、参加無料、手話通訳・要約筆記の体制は必要に応じて配備する。	令和5年8月	0 (手話通訳・要約筆記)	36 (手話通訳・要約筆記)	聴覚障害
48	市民局	(公財) 広島平和文化センター平和記念資料館啓発課	修学旅行生への被爆体験講話等	環境の整備	令和5年3月、主に被爆体験講話等で使用する平和記念資料館地下会議室2に、新たに講演者用簡易ステージを設置し、併せてそれに登壇するための手すり付きスロープを設置した。当該会議室は、平和目的の一般利用者にも供されることから、スロープの設置により、障害者を含めたより多くの人が利用しやすくなった。	—	被爆体験講話等の運営を通じ、必要に応じて環境整備を図りたい。	通年	(852千円) 広島市平和推進関連業務の変更契約により、執行残のある他事業から流用充当したもの。	—	全障害対象
49	市民局	(公財) 広島平和文化センター平和記念資料館啓発課	被爆体験伝承講話の定時開催	情報保障	毎日2回定時に実施。手話通訳、要約筆記の体制は必要に応じて配備した。4年度は該当がなかった。	—	来館者を対象に、毎日4回定時に講話を実施する。予約不要、無料。手話通訳、要約筆記の体制は必要に応じて配備する。	通年	0 (手話通訳・要約筆記)	156 (手話通訳・要約筆記)	聴覚障害
50	市民局	(公財) 広島平和文化センター平和記念資料館啓発課	国内原爆・平和展の開催	情報保障	国内原爆・平和展開催都市において被爆体験証言を行うに当たり、手話通訳、要約筆記の予算措置を行ったが、聴講者のニーズがなかった。	—	原爆被害の実相を伝え、核兵器廃絶の世論を醸成するため、国内各地において「原爆・平和展」を開催する。その一環として各地で行う被爆体験証言において、手話通訳、要約筆記ができるよう予算措置する。	令和5年7月～8月	0 (手話通訳・要約筆記)	156 (手話通訳・要約筆記)	視覚障害 聴覚障害
51	市民局	(公財) 広島平和文化センター国際市民交流課	国際フェスタの開催	情報保障	令和4年11月20日(日)に開催した。講演会において手話通訳を実施した。	手話通訳の実施をこれまで行ってきた講演会や姉妹・友好都市紹介以外にも拡大していくべきか検討を要する。	主に広島市内で国際交流・協力活動を行っている団体が一堂に会して、多くの人が楽しめる参加型事業を行い、在住外国人を含む参加市民に、国際交流・協力活動に親しみ、関心を高めてもらうとともに、広島市の都市像である国際平和文化都市の実現に資することを目的とし、令和5年度もイベントを開催予定である。参加は無料で、手話通訳を実施する。	年1回	14	14	聴覚障害
52	市民局	(公財) 広島平和文化センター国際市民交流課	「姉妹・友好都市の日」の開催及び「ヒロシマ・メッセンジャー」の運営	情報保障	下記の通り開催し、各イベントにて手話通訳を実施した。 「ハノーバーの日」記念イベント 5月29日(日) 「モントリオールの日」記念イベント 7月10日(日) 「ホノルルの日」記念イベント 9月1日(木) 「重慶の日」記念イベント 10月22日(土)	手話通訳の実施をこれまで行ってきた講演会や姉妹・友好都市紹介以外にも拡大していくべきか検討を要する。	広島市の各姉妹・友好都市(6都市)の記念イベントを開催し、各都市に対する広島市民の理解を深め、両市の一層の交流促進に寄与することを目的とし、令和5年度もイベントの開催を検討している。参加は無料で、手話通訳を実施する。	年に各1回 (合計4回)	ハノーバーの日 15 モントリオールの日 14 ホノルルの日 13 重慶の日 20	各イベント 359 (イベント開催経費負担金額)	聴覚障害
53	市民局	(公財) 広島平和文化センター国際市民交流課	国際会議場の環境整備(3階事務所)	環境の整備	カウンターに傘・杖を置くストッパーを設置した。	—	—	—	0	0	全障害対象
54	市民局	国際化推進課	広島市留学生の環境整備	環境の整備	・階段手摺に点字シール貼付 ・1階受付に杖ホルダー設置 ・筆談用紙設置	—	—	—	0	0	視覚障害 身体障害 聴覚障害
55	市民局	人権啓発課	人権啓発事業	情報保障	上村崇氏(福山平成大学福祉健康学部教授)の企業向け講座「ハラスメントを許さない～誰もが働きやすい環境を求めて～」を3月13日から広島市公式チャンネルYouTubeで配信を行った。動画に手話通訳のワイプ表示を行い、字幕を挿入した。	—	市民向け、企業向けと隔年での実施を予定しているため令和5年度は市民向けを実施予定。会場実施形式と動画配信形式を両方を準備する。会場で要約筆記、手話通訳を実施し、動画へは手話通訳のワイプ表示、字幕を挿入する。	令和5年4月～ 令和6年3月	21	105	聴覚障害
56	市民局	人権啓発課	人権啓発事業	情報保障	人権啓発パンフレットに音声コード(Uni-Voice)貼付けた。	—	人権啓発パンフレットに音声コード(Uni-Voice)貼付ける。	令和5年10月	255	493	視覚障害
57	市民局	人権啓発課東地域交流センター	東地域交流センター管理運営(教養・文化講座)	情報保障	新型コロナウイルス感染症等の影響により文化祭自体を中止した。	新型コロナウイルス感染症等による影響が懸念される。	あいあいプラザまつり舞台発表における手話通訳者を配置する。	11月	0	14	聴覚障害者

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
58	市民局	人権啓発課東地域交流センター	管理運営	環境の整備	玄関ホールに常置している車いすの整備をした。	—	玄関ホールに常置している車いすの整備をする。	通年	0	0	身体障害者
59	市民局	人権啓発課西地域交流センター	西地域交流センター管理運営(教養・文化講座)	情報保障	新型コロナウイルス感染症等の影響により文化祭自体を中止したため実績なし。	新型コロナウイルス感染症等による影響が懸念される。	ふくしま地区文化祭舞台発表における手話通訳者の配置をする。	11月	0	14	聴覚障害者
60	市民局	人権啓発課西地域交流センター	管理運営	環境の整備	玄関ホールに常置している車いすを整備した。思いやり駐車場の駐車区画及びマークをより一層周知した。(白線の明瞭可等)	—	玄関ホールに常置している車いすの整備をする。	通年	0	0	身体障害者
61	市民局	男女共同参画課	DV防止・被害者支援対策	情報保障	被害者支援携帯用カードに音声コード(Uni-Voice)を貼付した。	—	被害者支援携帯用カードに音声コード(Uni-Voice)を貼付する。	通年	143	129	視覚障害
62	健康福祉局	健康福祉企画課	Uni-Voice掲載版の福祉のことがわかる本の作成	情報保障	高齢者やその介護者の方々に対して、各種福祉制度等をわかりやすく紹介すること等を目的とした「福祉のことがわかる本」について、視覚障害者等の方々から自分自身で冊子の内容を確認できるよう、Uni-Voiceを掲載した冊子を作成した。	—	令和4年度に引き続き、令和5年度においても、Uni-Voiceを掲載した冊子を作成する。	年1回	424	458	視覚障害者等
63	危機管理室 健康福祉局	危機管理課 健康福祉企画課	避難行動要支援者避難支援対策の実施(災害に備えた避難支援に関する意向調査の実施)	情報保障	令和4年度意向調査対象者：32,109人 うち音声コード対象者：16人 うち点字版対象者：48人	—	災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者に対し、災害の発生に備え、避難支援等の実施に必要な限度で、避難支援等関係者へ、本人の情報を提供することについての同意確認(以下「意向調査」という。)を行っており、この意向調査においては、調査書類に振り仮名を付けるとともに、希望者に対しては点字文書の同封や音声コードの貼付サービスを行う。	年1回	832	613	視覚障害者等
64	健康福祉局	地域共生社会推進課	民生委員活動支援	情報保障	地域住民に対して、民生委員・児童委員活動を分かりやすく紹介すること等を目的としたPRチラシについて、視覚障害者の方が自分自身で内容を確認できるよう、令和元年度より定期的にUni-Voiceを掲載したチラシを作成している。	—	地域住民に対して、民生委員・児童委員活動を分かりやすく紹介すること等を目的としたPRチラシについて、視覚障害者の方が自分自身で内容を確認できるよう、Uni-Voiceを掲載したチラシを作成する。	年1回	—	112	視覚障害者等
65	健康福祉局	地域共生社会推進課	地域福祉センター等合築施設の施設整備	環境の整備	地域福祉センター等合築施設における、駐車場カーポート整備工事をした。 令和4年度 実施設計	—	地域福祉センター等合築施設における、駐車場カーポート整備工事をする。 令和5年度 工事	通年	510	3,600	肢体不自由
66	健康福祉局	地域共生社会推進課	広島市総合福祉センター駐車料金の負担	その他	施設利用者のうち、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳マルA・A、精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている者及び公安委員会発行の駐車禁止除外指定車標章の交付を受けている者が、自ら自動車を運転し、又は介護者の運転する自動車に同乗してBIGFRONTひろしま東棟駐車場に自動車を駐車した場合に必要な駐車料金について、その全額を指定管理者が負担する。	—	身体障害者等の駐車料金負担措置を継続する。	通年	—	—	全障害対象

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
67	健康福祉局	介護保険課	介護保険広報事業	情報保障	点字版及びユニボイス版のパンフレットを作成した。「介護の日」普及啓発のための講演会を開催し、要約筆記を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響により講演会中止となった。	講演会を予定しているが、感染症拡大防止の観点から延期または中止が懸念される。	介護保険事業について最新情報の提供を行うため、点字版及びユニボイス版のパンフレットを作成する。また、「介護の日」普及啓発のための講演会開催にあたり、要約筆記を行う。	11月	557	564	点字版パンフレット ユニボイス入版パンフレット 要約筆記派遣費用
68	健康福祉局	障害福祉課	障害を理由とする差別の解消に向けたシンポジウム	意識啓発・理解促進	令和5年2月1日(水)に開催した。岡山理科大学の川島聡教授による講演及び広島大学名誉教授の横藤田氏によるパネルディスカッションを行った。会場とwebのハイブリットで開催し、障害者及びその家族、事業者などさまざまな立場の方が参加され、総勢130名(会場参加45名、web参加85名)が参加した。	事業者に対する合理的配慮の義務化を主とした障害者差別解消法改正法が令和6年4月1日に施行されることが決まり、事業者を中心としたより多くの市民をどのように集客するかが課題である。	障害者差別解消法改正法を踏まえた基調講演を行うとともに、行政・民間事業者の取組の紹介や障害者関係団体を交えたパネルディスカッションを行うことにより、広く市民に障害や障害者に対する理解と意識啓発を促進することを目的に、シンポジウムを開催する。	年1回	1,748	715	全障害対象
69	健康福祉局	障害福祉課	障害者と広島交響楽団とのジョイントコンサート	情報保障	令和4年度のコンサートについては、新型コロナウイルス感染症対策のため、無観客で開催した。コンサートは、広島交響楽団が演奏する音源に合わせて、歌唱や手話歌やダンス等を披露した。また、その様子を広島市公式YouTubeチャンネルで公開した。上記、コンサート開催時とその練習時、実行委員会開催時に、手話通訳及び要約筆記を要する関係者のために、手話通訳及び要約筆記を配置した。	広響とのジョイントを通して、障害者の社会参加を図るコンサートであるが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により令和2年度に引き続き令和3年度が中止となった。令和4年度はコンサートホールで開催したが、有観客での開催はできず、令和5年度以降の開催について、コロナ禍前の開催手順を早めに確認する必要がある。	引き続き、左記事業を継続して実施する。	2月	5,704	4,811	全障害対応
70	健康福祉局	障害福祉課	手話相談員設置事業(地域生活支援事業)	情報保障	聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者(以下「聴覚障害者等」という。)は、その障害ゆえに健常者との対話を手話で行うが、生活上の困りごとや福祉制度等の相談を受けるには、手話技術をマスターし、聴覚障害者等の福祉に理解を有するものを各区に配置する必要がある。そのため、各区福祉課に手話相談員を各1名(中区は2名)配置し、聴覚障害者等の更生支援の相談に応じるとともに、必要な指導を行った。	—	引き続き、聴覚障害者等の情報保障のため、左記事業を継続して実施する。	通年	23,175	23,467	聴覚障害
71	健康福祉局	障害福祉課	手話通訳者派遣事業(地域生活支援事業)	情報保障	聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため意思疎通を図ることに支障がある障害者(以下「聴覚障害者等」という。)は、その障害ゆえに話すことも聞くことも非常に困難であるため、意志伝達の手段を確保する必要がある。しかしながら、日常生活において区役所等の公的機関や医療機関へ赴くとき、また、社会参加促進の観点から外出等するときに、適当な通訳者が得られない場合、ボランティアに頼らざるを得ない状況である。そこで、聴覚障害者等が外出等する場合に手話通訳者の派遣を行った。	—	引き続き、聴覚障害者等の情報保障のため、左記事業を継続して実施する。	通年	8,114	7,852	聴覚障害
72	健康福祉局	障害福祉課	要約筆記奉仕員派遣事業(地域生活支援事業)	情報保障	聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため意思疎通を図ることに支障がある障害者(以下「聴覚障害者等」という。)は、その障害ゆえに話すことも聞くことも非常に困難であるため、意志伝達の手段を確保する必要がある。しかしながら、日常生活において区役所等の公的機関や医療機関へ赴くとき、また、社会参加促進の観点から外出等するときに、適当な通訳者が得られない場合、ボランティアに頼らざるを得ない状況である。そこで、聴覚障害者等が外出等する場合に要約筆記者・奉仕員の派遣を行った。	—	引き続き、聴覚障害者等の情報保障のため、左記事業を継続して実施する。	通年	957	1,273	聴覚障害
73	健康福祉局	障害福祉課	聴覚障害者用災害避難情報ファクス送信事業	情報保障	災害時において、避難情報を音声で伝達することが困難な聴覚障害者で、あらかじめ登録した人に対し、避難に関する緊急情報をファクスで提供した。平成27年2月から、広島市防災情報メールの配信に併せて、自動で聴覚障害者(あらかじめ登録した人)へ配信メールと同様の内容をFAX送信する機能を追加している。	—	引き続き、聴覚障害者等の情報保障、災害対策のため、左記事業を継続して実施する。	通年	42	42	聴覚障害

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
74	健康福祉局	障害福祉課	相談窓口の設置	その他	広島市手をつなぐ育成会に委託し、障害者等からの障害を理由とする差別などに関する相談窓口の「障害者110番」を運営。また、障害福祉課及び各区役所等の行政窓口を設置した。	障害を理由とする差別の防止や解決を図るため、「障害者110番」の拡充を図る。	障害者等からの障害を理由とする差別などに関する相談窓口業務のほかパンフレット・ポスター等による相談窓口の周知や障害者110番と障害者基幹相談支援センター等の障害者相談窓口との連携強化（説明会・研修会等の実施）を行い「障害者110番」を拡充する。	相談については常時研修会等については適宜	2,261	2,335	全障害対応
75	健康福祉局	障害福祉課	事業者及び市職員を対象としたユニバーサルマナー研修会	環境の整備	障害を理由として不当な差別的取扱いを行わないように、日々の生活の様々な場面で、障害者や高齢者等多様な方々と接する市内事業者に対して必要な対応力を身に着けるため、ユニバーサルマナー研修会を実施した。	—	障害を理由として不当な差別的取扱いを行わないように、日々の生活の様々な場面で、障害者や高齢者等多様な方々と接する市内事業者に対して必要な対応力を身に着けるため、ユニバーサルマナー研修会を実施する	年1回	0	0	全障害対応
76	健康福祉局	障害福祉課	市職員を対象とした障害者差別解消法研修会	環境の整備	令和4年11月に各区等で全9回実施した。	—	職員が障害を理由とする不当な差別的取扱いを行わず、障害者への必要的配慮が行えるよう、本市職員に対して、法の趣旨等について、周知を図るために実施する。	本庁1回 各区1回 計9回	0	0	全障害対応
77	健康福祉局	障害福祉課	市職員を対象とした職員向け疑似体験研修会	環境の整備	職員一人一人が障害者差別解消法の趣旨を理解し、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、実際に疑似体験をしながら、どのような不便や危険があるかなどの注意すべき点を学んだ。（令和4年度は、白杖体験をした。）	—	職員一人一人が障害者差別解消法の趣旨を理解し、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮を的確に行うため、実際に疑似体験をしながら、どのような不便や危険があるかなどの注意すべき点を学んだ。	年1回	0	0	全障害対応
78	健康福祉局	障害福祉課	市職員を対象としたe-ラーニング研修	環境の整備	令和4年9月～12月の間に実施した。	—	会計年度任用職員を含め全ての職員が障害者差別解消法及び職員対応要領について学習する。また、令和2年10月1日に施行された広島市障害者差別解消推進条例について、条例の趣旨等に関する正しい知識、理解を促進するため実施する。	年1回	0	0	全障害対応
79	健康福祉局	障害福祉課	障害者差別解消支援地域協議会	その他	障害者差別解消法及び条例の施行に伴う障害者差別解消支援地域協議会を開催した。	—	障害者差別解消法及び条例の施行に伴う障害者差別解消支援地域協議会の運営にあたり、障害のある委員が出席した際の手話通訳者等を配置した。	協議会開催に合わせて実施	897	1,177	全障害対応
80	健康福祉局	障害福祉課	みんなのお店ひろしま宣言事業	その他	障害者が安心してサービスを利用できるよう、積極的に環境整備等に取り組むことを宣言する事業者を募集・公表し、事業者や市民への障害者差別解消に向けた機運を醸成した。	事業者への周知方法について検討する必要がある。	引き続き、障害者差別解消に向けた取り組みとして、左記事業を継続して実施する。	通年	291	247	全障害対応
81	健康福祉局	障害自立支援課	障害者情報バリアフリー事業	情報保障	在宅障害者向け講習会 16講座 ボランティア養成講座 3講座 施設利用者向け講習会 17講座 を実施している。	—	障害者支援施設にとって情報機器は日常生活の中で健常者以上に有効な情報手段であり、障害者が情報通信の利便を楽しく享受できる環境づくりを進める必要があるためICT講習会を実施する。実施の際には手話通訳者、要約筆記者を配置している。	通年	9,875	9,875	聴覚障害者
82	健康福祉局	障害自立支援課	「指定障害福祉サービス事業者・施設等一覧表」の点字版及びCD、テープ版作成・配布	情報保障	障害者支援施設に委託し、「指定障害福祉サービス事業者・施設等一覧表」の点字版及びCD、テープ版の作成・配布をした。	—	障害者支援施設に委託し、「指定障害福祉サービス事業者・施設等一覧表」の点字版及びCD、テープ版の作成・配布する。	年1回	989	989	視覚障害者
83	健康福祉局	精神保健福祉課	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業	意識啓発・理解促進	精神障害に対する正しい知識、理解を促進するとともに、必要な支援体制を整備するため、地域で相談支援を行う相談員を対象に、研修会を11月12日（土）に開催したところ、25名の相談支援者が参加した。	講演会開催に際し、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じる必要がある。	精神障害に対する正しい知識、理解を促進するため、支援者への講演・研修会等を実施する。	11月	31	45	R5年度については、障害・対象を特定した形で開催予定である。
84	健康福祉局	精神保健福祉課	自殺(自死)対策強化事業(心といのちを守るシンポジウム)	意識啓発・理解促進	例年9月に実施しており、令和4年度は9月3日（土）に実施した。参加者数は79人だった。	シンポジウム開催に関し、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じる必要がある。	自殺予防週間(9月10日～16日)に合わせて、うつ病等の精神疾患や自殺(自死)対策、命の大切さについての啓発を目的とするシンポジウムを開催する。	9月	715	835	予算要求額の中に手話通訳者及び要約筆記者を配置する費用を含んでいる。

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
85	健康福祉局	身体障害者 更生相談所	手話相談員設置事業	情報保障	手話相談員を1名配置し、手話通訳等を実施した。	新型コロナウイルス感染症対策でマスク装着の必要があるが、口の動きを見せるために、フェイスシールドのみで通訳を実施しており、感染症による影響が懸念される。	来所者に対する、手話相談員による手話通訳及び相談業務の実施する。	通年	2,815	2,994	聴覚障害
86	健康福祉局	身体障害者 更生相談所	身体障害者更生相談所管理 運営（タブレットの導入）	情報保障	タブレット端末（1台）の音声言語化アプリ等を使用して、コミュニケーションを図った。	文字変換が上手くいかないことがある。	タブレット端末による音声言語化アプリ（UDトーク）を使用したコミュニケーションの実施する。	通年	43	43	聴覚障害
87	健康福祉局	原爆被害対策部調査課	HICARE（放射線被曝者医療 国際協力推進協議会）講演会	意識啓発・理解促進	令和5年2月11日（土）に広島国際会議場で県民・市民向け講演会を開催した（オンラインも同時配信）。会場に手話通訳を配置するとともに、オンライン映像画面の右下に手話通訳者の映像を挿入した。会場とオンライン合わせて138名が参加した。	—	放射線被曝者医療に関する国際協力推進の意義と必要性やHICAREの活動について、県民・市民の理解を深めることを目的とした講演会を開催する。会場には手話通訳者を配置する。	年1回	12	12	聴覚障害
88	健康福祉局	広島市立 広島市民病院	筆談・手話通訳	情報保障	医療支援センターに筆談・手話通訳職員を配置し、開院日の午前8時30分から午後3時15分までの時間帯で予約制による筆談・手話通訳サービスを実施している。	新型コロナウイルス感染症対策でマスク装着の必要がある。	患者さんに対する手話通訳及び相談業務の実施する。	通年	0	0	聴覚障害
89	健康福祉局	広島市立 広島市民病院 北部医療センター 安佐市民病院 舟入市民病院 リハビリテーション病院	駐車料金の減免	その他	受診者（入院患者を除く）及び見舞いに来た者等のうち身体障害者手帳1級・2級、療養手帳マルA・A、精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている者及び公安委員会の発行する駐車禁止除外指定車標識の掲示のある車両を運転している者を対象に以下の減免措置を実施している。 外来患者 「無料」（障害者向けの減免措置としては広島市民病院のみ。他病院は一般の外来患者も24時間以内無料のため。） 見舞い者 「60分無料」	—	減免措置を継続する。	通年	0	0	全障害対象
90	健康福祉局	安佐市民病院 整備室	安佐市民病院移転建替え 事業	環境の整備	「広島県福祉のまちづくり条例」で定める規則に基づき駐車場、通路、出入口、廊下、階段、昇降機、便所等を整備した。	—	—	令和4年5月	建替え建設費 20,490,000(千円) の一部	0	全障害対象
91	健康福祉局	広島市立リハビリ テーション病院 事務室	新型コロナウイルス感染症 対策	環境の整備	新型コロナウイルス感染症対策として購入した非接触検温装置を車椅子でも使用できるように正面玄関入口の低位置に設置した。	—	—	令和2年11月	0	0	車椅子を必要とする身体障害者
92	健康福祉局	広島市立リハビリ テーション病院 自立訓練科	職員研修への講師派遣	環境の整備	企画総務局人事部研修センターからの依頼に基づき、新規採用職員研修(後期)において、市職員として必要な福祉に関する基本的な知識や技能などを会得するため「視覚障害者の理解」に関する科目の講師派遣を行った。	新型コロナウイルス感染症の発生状況等により、実施の可否等が懸念される。	企画総務局人事部研修センターからの依頼に基づき、新規採用職員研修(後期)において、市職員として必要な福祉に関する基本的な知識や技能などを会得するため「視覚障害者の理解」に関する科目の講師派遣を行う。	年1回	0	0	視覚障害者
93	健康福祉局	広島市立リハビリ テーション病院 自立訓練科	市政出前講座「視覚障害について知ろう！」の実施	意識啓発・理解促進	企画総務局広報課からの依頼に基づき、市政出前講座「視覚障害について知ろう！」を実施した。令和4年度は2回実施し、総勢25名が参加した。	新型コロナウイルス感染症の発生状況等により、実施の可否等が懸念される。	企画総務局広報課からの依頼に基づき、市政出前講座「視覚障害について知ろう！」、「病气やけがで障害がある人の社会復帰について」を実施する。	通年	0	0	視覚障害者
94	健康福祉局	広島市立リハビリ テーション病院	新規採用職員を対象とした 人権問題研修の実施	環境の整備	例年、病院機構が実施する研修に新規採用職員を参加させ、障害者差別解消法などについて理解を深めた。	—	令和5年4月に実施する。	年1回	0	0	全障害対象

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
95	子ども未来局	子ども・家庭支援課	広島市発達障害者支援講演会	その他	本市公式YouTubeを活用した動画配信によるオンライン講演会（一定期間限定公開）を実施した。またその際、動画内に手話通訳者による手話を挿入するとともに、字幕表示も可能な動画として編集し、配信を行った。 配信期間：令和5年3月10日（金）～3月31日（金） 視聴申込者：1,682名	—	発達障害の特性と発達障害者やその家族への支援の必要性について、市民意識の啓発を図ることを目的とし、毎年開催している。 一層の発達障害の理解のため、引き続き、普及啓発の取組を行うとともに、手話通訳や字幕表示による聴覚障害者等への情報保障について、継続して実施する。	年1回	1,045	684	発達障害 聴覚障害
96	環境局	温暖化対策課	脱・温暖化！市民総ぐるみ推進キャンペーン	情報保障	市民、事業者、行政等が一体となって地球温暖化対策に取り組むことを目的とした環境イベントの開催に当たり、手話通訳者及び要約筆記者を配置している。 ※令和3年度及び令和4年度はオンライン開催	—	手話通訳・要約筆記者を必要に応じて配備する。また、動画を配信する場合は、字幕を挿入する。	令和6年1月 (予定)	0	42	聴覚障害
97	経済観光局	雇用推進課	広島サンブラザ改修 (福祉環境整備)	環境の整備	(1)本館玄関前通路傾斜解消工事 (H29：2,300千円(実施設計) H30：10,068千円(工事)) (2)視覚障害者誘導床材の整備 (H29：219千円(実施設計のみ) R1：10,600千円(予算)) (3)車いす使用者対応トイレ内オストメイト対応設備設置 (H29：778千円) (4)浴室移乗台座の設置 (H29：28千円) (5)トイレ内水洗器具の改修 (R2：2,400千円) (6)館内案内板への点字表示 (R3:1,991千円)	—	広島サンブラザについて「広島市公共施設福祉環境整備要綱」に不適合な箇所のバリアフリー化改修を行う。	年1回	0	0	
98	都市整備局	(公財)みどり生きもの協会	協会職員を対象とした新規採用職員研修及び中堅職員研修	環境の整備	令和4年10月24日(月)に新規採用職員研修を令和4年11月22日(火)に中堅職員研修を開催した。それぞれの研修において障害者差別解消法について説明した。	—	予定している新規採用職員研修及び中堅職員研修等において障害者差別解消法について説明し、職員への法の理解促進を図る。	年各1回	0	0	全障害対象
99	道路交通局	道路課	福祉環境整備事業	環境の整備	これまで主に「バリアフリー法に基づく重点整備地区」や「バリアフリー整備促進地区」の歩道等について、視覚障害者誘導用ブロック設置などを行った。	令和元年7月に追加指定された特定道路において、現地の状況等から歩道整備が困難な路線が多数あるため、整備率が頭打ちになることが懸念される。	平成7年度から福祉環境の充実を図っており、平成13年度からはユニバーサルデザインによるまちづくりとして、引き続き歩道等の公共施設の改善・整備を行う。	通年	80,992	227,200	視覚障害 身体障害
100	中区	地域起こし推進課	中区青少年健全育成大会 (なかちゃん音楽の輪共催イベント)	情報保障	令和4年12月3日(土)に開催した。 小学生3名、中学生2名による意見発表、中学生による活動発表、修道中学校・修道高等学校スクールバンドによる特別演奏を実施し、430人が参加した。	—	地域・社会・家庭において取り組むべき問題に対する具体的な活動について、次代を担う青少年の生の声を聴いて区民が考える場を設け、青少年の声を生かした地域活動の展開や青少年の健全な育成を図る。まちの元気の源である青少年の生き活きとした意見発表や活動発表を通じて、まちに活力をもたらし、にぎわいのあるまちづくりを進めていく。 (会場に手話通訳・要約筆記者を配置)	10月7日(土)	29 (手話通訳・要約筆記者手数料)	30	聴覚障害
101	中区	地域起こし推進課	「減らそう犯罪」 (中区民大会・なかちゃん音楽の輪「地域芸能発表会」)	情報保障	令和5年2月18日(土)に開催した。 広島県警察本部減らそう犯罪情報官による特殊詐欺をテーマとする講演、中区4地区の団体による演芸発表を実施し、346人が参加した。	—	「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動の一環として、区民の防犯意識の高揚と地域の連帯感の創出を図り、また、区民による自主的なまちづくりへの関心を高め、もって「いきいき中区」の実現に資する。 (会場に手話通訳・要約筆記者を配置)	3月9日(土)	44 (手話通訳・要約筆記者手数料)	45	聴覚障害
102	東区	地域起こし推進課	「東区コミュニティ交流協議会」東区民大会	情報保障	令和4年12月3日(土)に「東区コミュニティ交流協議会」東区民大会(地域団体の活動発表等)を開催し、会場内に手話通訳者を配置した。	—	地域コミュニティの活性化や持続可能な地域社会を実現するために区民大会を開催し、地域連帯感の高揚を図るため、地域団体等の活動発表等を実施する。 取組：手話通訳者及び要約筆記者の配置	年1回 (12月)	13	46	聴覚障害

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
103	東区	地域起こし推進課	「青少年によい影響をあたえる運動」東区推進大会	情報保障	令和4年7月2日(土)に推進大会を開催し、要約筆者及び手話通訳者を配置した。 (令和2年度及び令和3年度：新型コロナウイルス感染予防のため中止した。)	—	青少年によい環境をあたえる運動の一環として、青少年健全育成を目的とした地域活動の取り組みの意欲を一層高めるとともに、広く地域住民の意識高揚を図るため、推進大会を開催する。 取組：手話通訳者及び要約筆者の配置	年1回 (7月)	86	106	聴覚障害
104	東区	地域起こし推進課	東区青少年健全育成大会～子ども達の声を聴く会～	情報保障	令和元年10月19日(土)に育成大会を開催し、要約筆者及び手話通訳者を配置した。 (令和2～4年度：新型コロナウイルス感染予防のため中止した。)	—	21世紀を担う青少年の健全な育成にあたり、青少年の意見に耳を傾け、地域・家庭の取り組むべき問題について区民が考える場とし、さらには声掛け運動などの地域活動として問題をきっかけとすることを目的とし、育成大会を開催する。 取組：手話通訳者及び要約筆者の配置	年1回 (11月)	13	194	聴覚障害
105	東区	地域起こし推進課	城下町広島の歴史講座	情報保障	平成30年度、31年度、令和4年度はそれぞれ5回開講し、全講に要約筆者を配置した。 (令和2年度及び3年度：新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止)	—	二葉の里歴史の散歩道のみならず、郷土広島の歴史(被爆とその後の復興を含む)・文化財の継承・風土・景観など、素晴らしい広島の魅力を再発見してもらう場として歴史講座を開講する。 取組：要約筆者の配置	年5回 (7月～11月)	136	158	聴覚障害
106	南区	地域支えあい課	在宅医療介護連携事業	情報保障	Youtubeにて公開した市民公開講座において、字幕を表示した。	—	引き続き取り組む。	年1回	0	0	聴覚障害者対象
107	南区	地域支えあい課	認知症対策事業	情報保障	認知症講演会において、手話通訳と要約筆記を配置した。	—	引き続き取り組む。	年1回	45,195	45,195	聴覚障害者対象
108	南区	地域支えあい課	健康増進健康教育事業における子宮頸がん講演会	情報保障	令和4年9月16日の子宮頸がん講演会を、聴覚が不自由な方も聴講できるよう、要約筆記付きで開催した。	—	令和5年度も同様に開催予定である。	年1回	23,015	23,015	聴覚障害対象
109	西区	西区 地域起こし推進課	「青少年によい環境をあたえる運動」西区啓発大会	情報保障	会場内に手話通訳者、要約筆者を配置した。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期とし、その後、令和3年、令和4年はwebにて配信開催し、字幕及び冊子配布により対応したため、手話通訳者、要約筆者は不要となった。	—	次世代の社会の担い手となる青少年の健全な育成について、家庭、学校、地域社会が連携して取り組み、市民意識の啓発を図り、青少年の健全育成活動を推進することを目的として実施する。 地区青少年健全育成連絡協議会による事例発表ほか会場内に、手話通訳者、要約筆者を配置する。	年1回	99	93	聴覚障害
110	西区	西区 地域起こし推進課	西区青少年健全育成大会	情報保障	会場内に手話通訳者、要約筆者を配置した。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期とし、その後、令和3年、令和4年はwebにて配信開催し、字幕及び冊子配布により対応したため、手話通訳者、要約筆者は不要となった。	—	次代を担う青少年が今、何を考えているのか、青少年の意見に耳を傾け、地域、社会、家庭の取り組むべき問題について関係者が考える場をもち、さらには、これを生かした地域活動を展開し、定着させることを目的として開催する。 (小・中学生による意見発表ほか) (会場内に、手話通訳者、要約筆者を配置する)	年1回	309	303	聴覚障害
111	安佐南区	地域起こし推進課	「減らそう犯罪」安佐南区民大会	情報保障	令和元年度10月5日に「減らそう犯罪」安佐南区民大会(地域団体の活動事例や講演、ゲストを招いて演奏)を開催した。会場内に手話通訳者を配置した。 (令和2年度～令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。)	—	多くの区民や各種団体の参加を得て、防犯意識の高揚と防犯活動に対する認識の共有化を推進するとともに、犯罪傾向や地域での防犯活動の取組事例を紹介し、今後の地域活動の充実を図る。会場内に手話通訳者を配置する。	年1回	21	21	聴覚障害者
112	安芸区	地域起こし推進課	「減らそう犯罪」安芸区民大会	情報保障	令和5年1月29日(日)に開催した。広島県警減らそう犯罪情報官による講演等を行った。会場内に手話通訳者及び要約筆者を配置した。	事業者に対する合理的配慮の義務化を主とした障害者差別解消法改正法が令和6年4月1日に施行されることが決まり、多くの市民をどのように集客するかが課題である。	事業目的：安全・安心なまちづくりに関する防犯意識と地域連帯感の高揚を図り、より良い地域社会をつくるために区民大会を開催する。 内容：防犯に関する講演等を行う。 取組：手話通訳者及び要約筆者の配置する。	年1回	45	都度令達	視覚、聴覚

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
113	安芸区	地域起こし推進課	安芸区防災講演会	情報保障	令和5年2月26日(日)に開催した。NHK気象キャスターの勝丸恭子氏による講演を行った。会場内に手話通訳者及び要約筆記者を配置した。	事業者に対する合理的配慮の義務化を主とした障害者差別解消法改正法が令和6年4月1日に施行されることが決まり、多くの市民をどのように集客するかが課題である。	事業目的：地域における防災意識を高めるとともに、自主防災活動を活性化させるため、防災に関心がある一般市民や地域の防災リーダーである自主防災組織の会長等を対象とした防災講演会を開催し、防災思想の普及啓発及び防災リーダーの養成を図る。 内容：防災に関する講演等を行う。 取組：手話通訳者及び要約筆記者の配置する。	年1回	44	都度令達	視覚、聴覚
114	安芸区	地域起こし推進課	安芸区青少年健全育成大会	情報保障	令和4年11月5日(土)に開催した。安芸区内の中学生の意見発表を行った後、青少年育成指導者の和田晋氏による講演を行った。会場内に手話通訳者及び要約筆記者を配置した。	事業者に対する合理的配慮の義務化を主とした障害者差別解消法改正法が令和6年4月1日に施行されることが決まり、多くの市民をどのように集客するかが課題である。	事業目的：青少年の意見に耳を傾けることで、家庭・地域が取り組むべき問題を見つけるとともに、区民が考える場を設け、地域活動のさらなる定着を図る。 内容：安芸区内中学生代表の意見発表・講演 取組：手話通訳者及び要約筆記者の配置した。	年1回	51	51	視覚、聴覚
115	消防局	施設課	広島市総合防災センター福祉環境整備	環境の整備	広島市総合防災センターの福祉環境整備を図るため、令和4年度に実施設計を実施した。	—	広島市総合防災センターの福祉環境整備を図るため、令和5年度に工事に着手予定である。	—	1,344	41,000	身体障害
116	消防局	警防課	広島市eメール119番	情報保障	令和4年実績 登録者数154名 通報件数1件 出動件数1件	—	言語・聴覚障害者等が、携帯電話やインターネット端末機などの電子メール機能を利用して119番通報が行えるようにしている。	通年	118	123	言語・聴覚障害者等
117	消防局	警防課	聴覚障害者等緊急通報用ファクス	情報保障	令和4年実績 登録者数なし 通報件数3件 出動件数3件	—	言語・聴覚障害者等が、指定された様式に必要事項を記入し、固定電話のファクス機能を利用して119番通報が行えるようにしている。	通年	96	96	言語・聴覚障害者等
118	消防局	警防課	Net119緊急通報システム	情報保障	令和4年実績 登録者数134名 通報件数0件 出動件数0件	—	言語・聴覚障害者等が、スマートフォンや携帯電話などからインターネット機能を利用して119番通報が行えるようにしている。	通年	3,432	3,432	言語・聴覚障害者等
119	消防局	救急課	広島市消防局手話・要約筆記者派遣事業	環境の整備	—	—	消防隊等の災害活動現場において、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者との円滑な意思の疎通を図るうえで支障がある場合に、手話筆記者又は要約筆記者を派遣し、意思伝達の手段を確保するもの。	通年	0	4	聴覚または音声・言語機能障害
120	水道局	企画総務課	水道局ホームページ管理運営	情報保障	水道局ホームページ上に音声読み上げ機能を導入した。	—	—	通年	ホームページシステム開発及び保守・運用等業務委託費に含まれるため、算出不可	ホームページシステム開発及び保守・運用等業務委託費に含まれるため、算出不可	視覚障害
121	水道局	営業課	視覚障害者への点字郵送サービス	情報保障	請求書及び領収書等の郵送物を点字で送付した。	—	請求書及び領収書等の郵送物を点字で送付する。	通年	50	55	視覚障害の方で希望される方
122	議会事務局	総務課	聴覚障害者の傍聴対応(手話通訳者派遣)	情報保障	【令和4年度の手話通訳者の派遣実績】なし	—	聴覚障害があり、広島市議会の傍聴に際し手話通訳者を必要とされる方に対して、議会事務局で手話通訳者の配置を行う。	本会議・委員会等各種会議の開催日	0	156	聴覚障害

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
123	議会事務局	総務課	聴覚障害者の傍聴対応 (要約筆記者派遣)	情報保障	【令和4年度の要約筆記者の派遣実績】 なし	—	聴覚障害があり、広島市議会の傍聴に際し要約筆記者・奉仕員を必要とされる方に対して、議会事務局で要約筆記者・奉仕員の配置を行う。	本会議・委員会等各種会議の開催日	0	108	聴覚障害
124	議会事務局	秘書広報室	広島市議会本会議中継及び議長記者会見中継の手話通訳実施業務	情報保障	【広島市議会本会議中継】 平成28年6月定例会以降の全ての本会議において、議事進行や一般質問などの発言内容を聴覚障害者向けに手話通訳し会議映像とともに中継した。 【議長記者会見中継】 平成28年6月から平成31年4月にかけて計12回実施した。議長等の発言内容を聴覚障害者向けに手話通訳し会見映像とともに中継した。	・時間外や休日に開会する際の手話通訳士の確保 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策 (実施中は、狭い編集室内に5~6人が詰める体制となるため、①手話通訳士の待機場所を別室とする、②室内の換気を徹底するなど対策を講じている。)	【広島市議会本会議中継】 本会議における議事進行や一般質問などの発言内容を、聴覚障害者向けに手話通訳し、会議映像とともに中継する。 【議長記者会見中継】 当面、議長記者会見の開催見込みはないが、実施に備えて手話通訳業務の予算措置を行っている。	【広島市議会本会議中継】 市議会定例会(6月、9月、12月、2月)、及び臨時会に併せて実施 【議長記者会見中継】 未定	611	683	聴覚障害
125	議会事務局	秘書広報室	広報紙「ひろしま市議会だより」の点字広報紙製作及び配付業務	情報保障	【令和4年度実績】合計：512部 内訳：第303号 86部 第304号 86部 第305号 85部 第306号 85部 第307号 85部 第308号 85部	—	視覚障害者向けに、広報紙「ひろしま市議会だより」を点字翻訳したものを製作し、希望者へ配布している。	主に市議会定例会(6月、9月、12月、2月)閉会から約40日後に送付	1,106	1,370	視覚障害
126	議会事務局	秘書広報室	広報紙「ひろしま市議会だより」の声の広報制作及び配付業務	情報保障	【令和4年度実績】合計：726部 内訳：第303号 121部 第304号 121部 第305号 121部 第306号 121部 第307号 121部 第308号 121部	—	視覚障害者向けに、広報紙「ひろしま市議会だより」を音声で聞けるよう、声の広報(カセットテープ版とCD版(デジ版))を制作し、希望者へ配布している。	主に市議会定例会(6月、9月、12月、2月)閉会から約40日後に送付	1,123	1,346	視覚障害
127	教育委員会	施設課	福祉環境整備事業	環境の整備	児童・生徒の障害の程度や当該学校施設の状況に応じて、次に掲げるもののうち必要な整備を行った。 ・階段手摺り ・スロープ ・便所改修 (身体障害者等対応便所/本館及び常時児童、生徒等が生活する棟に各1箇所設置) (小便器及び洗面器の手すり/各便所に1か所設置) 令和4年度は既定予算の範囲内でスロープ設置工事を実施した。	—	児童・生徒の障害の程度や当該学校施設の状況に応じて、次に掲げるもののうち必要な整備を行う。 ・階段手摺り ・スロープ ・便所改修 (身体障害者等対応便所/本館及び常時児童、生徒等が生活する棟に各1箇所設置) (小便器及び洗面器の手すり/各便所に1か所設置) 令和5年度は、既定予算の範囲内でスロープ設置工事を行う。	随時	3,363	0	全障害対象
128	教育委員会	施設課	エレベーター整備	環境の整備	学校においては、次のいずれかの場合にエレベーター整備を行った。 ・学校新設時及び校舎の増改築時 ・人的介助及び階段昇降機によつての上下階移動が著しく困難な場合等 令和4年度は次の事業を実施した。 ・実施設計：船越小、五日市小	—	学校においては、次のいずれかの場合にエレベーター整備を行う。 ・学校新設時及び校舎の増改築時 ・人的介助及び階段昇降機によつての上下階移動が著しく困難な場合等 ・常時椅子を使用する児童・生徒の在籍・入学時 令和5年度は、次の事業を実施する。 ・工事：船越小、五日市小 ・実施設計：宇品東小、観音小、南観音小、山本小、吉島中、庚午中	随時	7,657	217,016(繰越込)	全障害対象
129	教育委員会	施設課	エレベーター改修	環境の整備	佐伯区内の小・中学校に設置された老朽化の著しい荷物エレベーターについて、人荷用・バリアフリー対応のエレベーターに改修し、機能向上を図った。 令和3年度は、次の事業を実施した。 ・改修工事：五日市東小(繰越) 令和4年度は次の事業を実施した。 ・実施設計：五日市観音西小 ・改修工事：三和中、五日市中	—	佐伯区内の小・中学校に設置された老朽化の著しい荷物エレベーターについて、人荷用・バリアフリー対応のエレベーターに改修し、機能向上を図る。 令和5年度は、既定予算の範囲内でEV改修を実施する。	平成28年～	49,774	0	全障害対象

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容を具体的に記入してください。				
130	教育委員会	育成課	青少年健全育成市民大会	情報保障	令和4年11月19日(土)に開催した。ステージ行事等で、手話通訳、要約筆記を実施した。	—	広島市青少年健全育成市民大会に参加する聴覚障害者に対する合理的配慮の一環として手話通訳及び要約筆記を実施する。	年1回	69	71	聴覚障害
131	教育委員会	育成課	広島市成人祭 広島市二十歳を祝うつどい	情報保障	令和4年5月及び令和5年1月に開催した式典では、手話通訳及び要約筆記を実施し、式典の内容を情報提供した。 また、次に掲げることを行った。 ・オンライン配信映像のアーカイブ字幕入り配信 ・式典に参加した身体障害者等のタクシー送迎 ・式典に参加した身体障害者等の駐車場の確保及び通行証の発行	—	次に掲げることを行う。 ・手話通訳及び要約筆記 ・オンライン配信映像のアーカイブ字幕入り配信 ・式典に参加する身体障害者等のタクシー送迎 ・式典に参加する身体障害者等の駐車場の確保及び通行証の発行	1月 第2月曜日 (成人の日)	210	71	聴覚障害 身体障害等
132	教育委員会	育成課	非行防止啓発活動	情報保障	令和5年3月11日(土)に中区地域福祉センター大会議室にて開催。広島少年鑑別所の林地域非行防止調整官による講演を実施した。	—	一般市民を対象に様々な角度から少年の非行問題について考えるセミナーを実施する。 手話通訳及び要約筆記を実施する。	令和6年2～3月	43	33	聴覚障害
133	教育委員会	育成課	ちびっこ広場整備	環境の整備	高齢者、身体障害者も含めて、全ての市民が利用しやすいちびっこ広場とするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、出入口段差解消修繕整備を行った。	—	高齢者、身体障害者も含めて、全ての市民が利用しやすいちびっこ広場とするため、「広島市公共施設福祉環境整備基準」に基づき、出入口段差解消修繕整備を行う。	通年	1,166	0	身体障害
134	教育委員会	指導第一課	小・中・高校生による文化の祭典	情報保障	(令和4年度実績なし)	—	小・中・高等学校における文化芸術活動の成果を発表する機会を設け、児童生徒の文化芸術活動への意欲と自信を高めるとともに、豊かな感性と情操をはぐくむために実施する「小・中・高校生による文化の祭典」において、「小学校の部(ことばの部)」及び「中学校の部(音楽・言語活動部門)」に手話通訳者を派遣する。	11月(中学校の部) 12月(小学校の部)	0	36	聴覚障害
135	教育委員会	指導第一課	こどもピースサミット	情報保障	(令和4年度実績なし)	—	児童及び参加者が平和への思いを共有するとともに、平和の大切さについての意識の高揚を図るために実施する「平和の歌声・意見発表会」に手話通訳者を派遣する。	6月	0	45	聴覚障害
136	教育委員会	特別支援教育課	障害のある子どもへの医療的ケア実施事業	環境の整備	・特別支援学校(令和4年度：対象42名)には看護師13名(通年の会計年度任用職員)を、幼稚園・小・中学校(令和4年度：対象16名)には看護師26名(日任用の会計年度任用職員)を配置し、医療的ケアを実施した。 ・専門性の向上及び切れ目のない医療的ケアの実施のため、令和4年度より新たに特別支援教育課に看護師(通年任用)を配置し、各学校や看護師への指導助言等を行える体制を整備した。 ・宿泊行事や看護師に急きょ欠員が出たときに対応するため、訪問看護ステーションへ業務委託を行い、看護師の人員確保に努めた。	人工呼吸器の管理等、高度な医療的ケアを必要とする児童生徒が増えていることから、看護師の専門性の向上及び人員の確保が課題である。	特別支援学校及び小・中学校等に在籍する医療的ケア児に対して、必要に応じて看護師を配置し、安心して学校生活を送ることができるよう支援することを目的とする。 特別支援学校(R5年度：対象42名)には看護師(通年の会計年度任用職員)14名を配置し、小・中学校(R5年度：対象18名)には看護師(日任用の会計年度任用職員)を配置し(状況に応じて1人の子どもに複数の看護師配置することもある)、医療的ケアを実施するとともに、看護師対象の研修を実施するなど、令和5年度は体制の一層の充実を図る。 宿泊行事や看護師に急きょ欠員が出たときの人員確保のため、訪問看護ステーションへの業務委託を行う。	通年	6,645 (人件費を除く) (人件費) 《会計年度任用職員(特別支援学校・事務局)》 47,986 《会計年度任用職員(小・中学校等)》 18,720	10,824	医療的ケアを必要とする児童生徒

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
137	教育委員会	特別支援教育課	特別支援教育におけるタブレット端末活用事業	情報保障	令和4年度までに、特別支援学校及び特別支援学級又は通級指導教室を設置する小・中学校に計357台のタブレット端末を整備し、児童生徒の実態に応じた取組を進めている。 令和4年度は、教員を対象とした研修を実施し、知的障害、自閉症、学習障害等、児童生徒の特性に合わせた活用のあり方について学ぶ場を設けた。また、タブレット端末サポート員による活用相談会を実施した。	本事業で集積した個に応じたタブレット端末の活用例を踏まえ、「GIGAスクール構想」に基づく1人1台端末に、一人一人に合わせたアプリのインストールを行うことができるよう、アプリの選定等を行うことが課題である。	本事業において特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室に整備したタブレット端末や、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末を活用し、児童生徒が障害や苦手を補ったり、自分の考えを表現するための機器として用いたりするなどにより、児童生徒が主体的・主体的に活動できるようにすることを通して、障害のある児童生徒が自らの力を伸ばし、自立や社会参加を目指す。 今後は、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末を個に応じて効果的に活用することをさらに推進しながら、教員の研修やアプリの操作方法の普及等、サポート体制の充実を図る。	通年	1,758 (タブレット端末及び活用できる環境整備等)	1,685	特別支援学校、特別支援学級に在籍している児童生徒及び通級指導教室で指導を受けている児童生徒
138	教育委員会	特別支援教育課	学習サポーター・特別支援教育アシスタント事業	環境の整備	小・中学校等に在籍する児童生徒等で、学級担任や教科担任による指導等だけでは学力向上等を目的とした対応が困難な場合、学習サポーターを配置し、担任の指導のもと学校生活への不応の対応とともに、学習支援の充実を図った。 小・中学校等の通常の学級に在籍する児童生徒等で、肢体不自由のため学校生活の支援・介助を必要とする場合、特別支援教育アシスタントを配置し、担任の指導のもと学校生活の支援・介助を行った。 令和4年度は、学習サポーター、特別支援教育アシスタント合わせて645名を配置した。	—	小・中学校等に在籍する児童生徒等で、学級担任や教科担任による指導等だけでは学力向上等を目的とした対応が困難な場合、学習サポーターを配置し、担任の指導のもと学校生活への不応の対応とともに、学習支援の充実を図る。 小・中学校等の通常の学級に在籍する児童生徒等で、肢体不自由のため学校生活の支援・介助を必要とする場合、特別支援教育アシスタントを配置し、担任の指導のもと学校生活の支援・介助を行う。 令和5年度は、学習サポーター、特別支援教育アシスタント合わせて657名を配置する。	通年	442,065 (学習サポーター、特別支援教育アシスタントの人件費、特別支援教育アシスタントの校外学習旅費等)	520,500	学習サポーター：障害のある児童生徒に限定しない。 特別支援教育アシスタント：肢体不自由の児童生徒（通常の学級に在籍）
139	教育委員会	特別支援教育課	特別支援教育体制充実事業	環境の整備	・専門家チームによる巡回相談指導については、県の新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策や国の緊急事態宣言、まん延防止対策等が長期続いたことから、令和4年度は168回の実施であった（令和3年度125回、令和2年度226回、平成31年度252回）。 ・特別支援教育コーディネーターの養成については、研修会を新任者は5回、経験者は3回（インクルーシブ教育実践研究校の専任コーディネーターの研修を11回）実施した。 ・インクルーシブ教育実践研究校を16校指定し、研究を推進した。 ・管理職対象研修会を7月と9月に実施した。	—	障害のある児童生徒について、障害による学習上又は生活上の困難を克服するための適切な指導や必要な支援が可能になるよう、指導や校内支援体制の充実を図る。 専門家チームによる巡回相談指導、特別支援教育コーディネーターの養成及び研究校の指定等のほか、管理職を対象とした研修や市民等への理解・啓発の推進に係る講演会等を実施する。	年間を通して実施する。 《管理職対象講演会8・9月》 《市民・保護者対象講演会：2月》	2,805 (市民等への理解・啓発：こども未来局で計上)	3,883 (市民等への理解・啓発：こども未来局で計上)	小・中学校の通常の学級（発達障害等）、特別支援学級（知的、自閉症・情緒障害、弱視、難聴、病弱）、特別支援学校（知的障害）に在籍する児童生徒
140	教育委員会	特別支援教育課	車椅子用電動階段昇降機の維持管理及び更新	環境の整備	・2年に1回のペースで保守点検を行い、修繕を行いながら安全性の確保に努めている。 ・25台のうち、平成29年度に1台、平成30年度に2台、平成31年度に5台、令和2年度に4台、令和3年度に4台、令和4年度に4台更新を行った。	平成15～16年度に配備した8台は、耐用年数を大幅に超え、繰り返し修繕を行ってきたが、安全性に課題が生じており、順次更新する必要がある。	車椅子を使用する肢体不自由の児童生徒が階段を昇降するために、エレベーターが設置されていない学校に車椅子用電動階段昇降機を配備しており、その維持管理及び更新を行い、肢体不自由の児童生徒の安全・安心な学校生活を支援する。 左記の課題を解消するため、令和5年度も階段昇降機4台を更新する。	通年	維持管理 616 更新（4台） 5,632	維持管理 1,434 更新（4台） 5,632	肢体不自由（車椅子を使用する児童生徒）
141	教育委員会	特別支援教育課	要約筆記奉仕員派遣事業	情報保障	・平成29年度は高等学校から1校、平成30年度は中学校から1校ほど派遣要請があった。平成31年度から令和4年度には、派遣申請がなかった。	平成31年度には、学校から手話通訳についての問合せがあった。要約筆記だけでなく手話通訳にも使えるように事業自体の変更を考える必要がある。	聴覚に障害のある生徒が在籍する中学校及び高等学校を対象に、講演会や講話などの学校行事において、要約筆記奉仕員を派遣し、聴覚に障害のある生徒の聞こえにくさからくる学習上の様々なハンディキャップの軽減・解消を図る。令和5年度は、要綱を改正して、要約筆記だけでなく手話通訳にも使えるようにする。	中学校及び高等学校から派遣要請があった場合	0	29 (報償費)	聴覚障害
142	市選挙管理委員会	啓発課	広島市議会議員一般選挙	情報保障	視覚障害者のうち、市民と市政点字版の送付希望者については、「選挙公報点字版」を作成し送付した。	—	今後も選挙執行時に同様の取り組みを行う。	選挙時	0	2,220	視覚障害者
143	市選挙管理委員会	啓発課	広島市議会議員一般選挙	情報保障	視覚障害者のうち、市民と市政音声版送付希望者については、「選挙公報音声版」を作成し送付した。	—	今後も選挙執行時に同様の取り組みを行う。	選挙時	0	1,518	視覚障害者
144	市選挙管理委員会	啓発課	広島市長選挙	情報保障	視覚障害者のうち、市民と市政点字版の送付希望者については、「選挙公報点字版」を作成し送付した。	—	今後も選挙執行時に同様の取り組みを行う。	選挙時	197	0	視覚障害者
145	市選挙管理委員会	啓発課	広島市長選挙	情報保障	視覚障害者のうち、市民と市政音声版送付希望者については、「選挙公報音声版」を作成し送付した。	—	今後も選挙執行時に同様の取り組みを行う。	選挙時	226	0	視覚障害者

	局・区等	課名	事業名	取組の分類	令和4年度までの取組に係る事業実績	問題点・課題点等	令和5年度以降の取組に係る事業内容・取組予定	実施時期	令和4年度 決算見込額 (単位：千円)	令和5年度 予算額 (単位：千円)	備考 (対象となる 障害種別等)
					左記事業等の実績等を具体的に記入してください。		事業目的、事業の必要性、事業内容等を具体的に記入してください。				
146	市選挙管理委員会	選挙課	各選挙	情報保障	視覚障害者のうち、点字サービスの利用希望者に「選挙のお知らせ」(投票所入場券)を、「点字による選挙のお知らせ」と共に封筒に入れ、「ヒロシマシ」の点字シールを貼付して送付した。	—	今後も選挙執行時に同様の取り組みを行う。	選挙時	28	0	視覚障害者
147	市選挙管理委員会	選挙課	広島市長選挙及び広島市議会議員一般選挙	情報保障	広島市長選挙及び広島市議会議員一般選挙の立候補予定者説明会において、手話通訳者及び要約筆記者を配置した。	—	今後も選挙執行時に同様の取り組みを行う。	選挙時	69	0	聴覚障害者
148	人事委員会	任用課	任用関係事務	その他	障害者を対象とした職員採用試験の申込みの際には、申込書において、全ての受験者を対象として受験に当たり配慮を希望する事項についての有無等を確認しており、当該配慮を希望する者には、できる限りの対応を行った上で試験を実施した。	—	これまでの取組における経験を生かすなどして、引き続き、同様の取組を行う。	9月～10月頃	※算出不能	※算出不能	次に掲げる手帳等の交付を受けている者 ア 身体障害者手帳 イ 療育手帳又は児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医若しくは障害者職業センターによる知的障害者であることの判定書 ウ 精神障害者保健福祉手帳 ※上記の手帳等は、第1次試験及び第2次試験の受験日当日において有効であることが必要

取組の分類	集計	<分類説明>
情報保障	92	点字の作成や手話通訳者の派遣など
環境の整備	38	バリアフリーや市等の職員研修、体制整備など
意識啓発・理解促進	10	対外的研修など
その他	8	複合的なものや上記分類に該当しないもの
合計	148	